



AKB FUTURE PROJECT

『世界の明日を創る』
～未来のグローバルリーダーの育成～



北海道登別明日中等教育学校



登別温泉は有名ですが. . .。



- ▶ 道南に位置
(札幌まで100km)
札幌に集中
- ▶ 主な産業は観光 (登別温泉)
隣に室蘭市 (鉄の町)
- ▶ 人口減少
- ▶ 農業、酪農、漁業
- ▶ 自然に恵まれる



AKB Future Project 『世界の明日を創る』』

～未来のグローバルリーダーの育成～

提案型探究学習プログラムの開発 ～食糧問題へのアプローチ～

＜教育課程に位置付け＞

- ・日本及び世界の食糧事情についての大学教員等によるワークショップ(北大、帯畜大:5・6回生:総合的な学習の時間)
- ・課題研究発表会の公開(北海道庁他:5回生)
- ・英語による論文の作成と発信(6回生:大学院生のサポート)
- ・農業や水産業についての農水省職員によるワークショップ(5回生:総合的な学習の時間)

＜教育課程外＞

- ・海外研修(5大陸訪問)におけるフィールドワークとディスカッション(4～6回生希望者)
- ・国際会議(済州青少年フォーラム、ユネスコ世界大会等)
- ・海外留学生とのディスカッション(4～6回生)
- ・世界へ向けてプレゼンテーション(TEDxTokyo等)
- ・生徒の変容に関する評価の研究(ルーブリックの開発・研究)

国際的な対話力

ー「外国人と積極的に意見交換をし、対話ができる力を養う」

＜教育課程に位置付け＞

- ・語学研修(ブリティッシュヒルズ:3回生)
- ・海外見学旅行(アメリカ・カナダ:5回生)
- ・外国人教員等によるディスカッション、ディベート演習(4・5回生:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)
- ・北大教員、外務省・領事館職員によるセミナー(4・5回生:英語、現代社会、総合的な学習の時間)

＜教育課程外＞

- ・北海道スーパーイングリッシュキャンプ(道教委)
- ・「日本の次世代リーダー養成塾」(北海道庁)
- ・ディベートコンテスト、スピーチコンテスト(高文連)
- ・エッセイコンテスト(上智大学・津田塾大学等)

課題解決力

ー「諸課題についての探究活動を通して、課題を発見し、解決する力を養う」

＜教育課程に位置付け＞

- ・世界の食糧問題に関する大学教員等によるパネルディスカッション(北大、帯畜:4～6回生:現代社会、生物、政治経済等)
- ・TPPについての大学教員等によるワークショップ(北大、帯畜:4・5回生:総合的な学習の時間)
- ・グローバル企業でのジョブシャドウイング(4回生:航空会社、領事館、ホテル)
- ・JICAの研修員によるワークショップ(4・5回生:総合的な学習の時間)
- ・海外の大学生とのディスカッション(5回生:海外見学旅行)

＜教育課程外＞

- ・海外のユネスコスクールとのグローバルな課題の共有(ESS)

情報発信力

ー「世界の中での日本の立場や役割を理解し、日本の魅力を再発見し、情報発信する力を養う」

＜教育課程に位置付け＞

- ・海外姉妹校におけるプレゼンテーション(5回生:アメリカ)
- ・テレビ会議での海外高校生との意見交換(オセアニア、アジア:4回生:英語表現Ⅰ)
- ・和食の研究と情報発信(4・5回生:総合的な学習の時間・社会と情報・家庭基礎)
- ・国際観光学における地域研究(6回生選択者)

＜教育課程外＞

- ・英語プレゼンテーションコンテスト(高文連)
- ・英語のホームページによる情報発信(ESS等)
- ・通訳ボランティア(ESS等)

文部科学省・北海道教育委員会

指導
支援

北海道大学・帯広畜産大学・東京農業大学・JICA・農水省・企業他

連携
協力

SGH(スーパーグローバルハイスクール) 事業

将来、国際的に活躍できる グローバル・リーダーを育成する

AKB Future Project 3つの柱

国際的な対話力

- ・ 外国人と積極的に意見交換をし、対話ができる力を養う

課題解決力

- ・ 課題研究や授業における探究活動を通して、課題を発見し、解決する力を養う

情報発信力

- ・ 世界の中での日本の立場や役割を理解し、日本の魅力を再発見し、情報発信する力を養う

前期生（中1～3）の総合的な学習の時間

1 回生

地域

ウォッチング

地元である
登別の産業
を知る



2 回生

北海道を知ろう

広い北海道の
特徴を知る



3 回生

世界と日本の

つながり

北海道と世界の
つながりを探る

課題研究

- ▶ SG社会と情報（4回生）・SG家庭基礎（5回生）
それぞれ2単位の60%程度を課題研究の時間
- ▶ 「食糧問題」が大テーマ
→ 地域の特性、視点の多さ
- ▶ グループ研究（4～5名）→36グループ
- ▶ 教員がアドバイザー（1グループ1教員）
論理の展開や研究の進め方などについて
アドバイス
- ▶ SG社会と情報はTTで対応



4回生（高1）の課題研究：SG社会と情報



- 1 北海道農政部、JETRO、JICAによるセミナー・ワークショップ
→ 知識のインプット
- 2 酪農学園大学 → 探究入門（研究課題、仮説の設定）
テーマは、選択制
- 3 集中週間 → グループでの議論を深める時間の確保
- 4 最終発表 → ポスターセッション
（グループを2つに分け、全員が発表する）
※ 3回生、5回生が参加

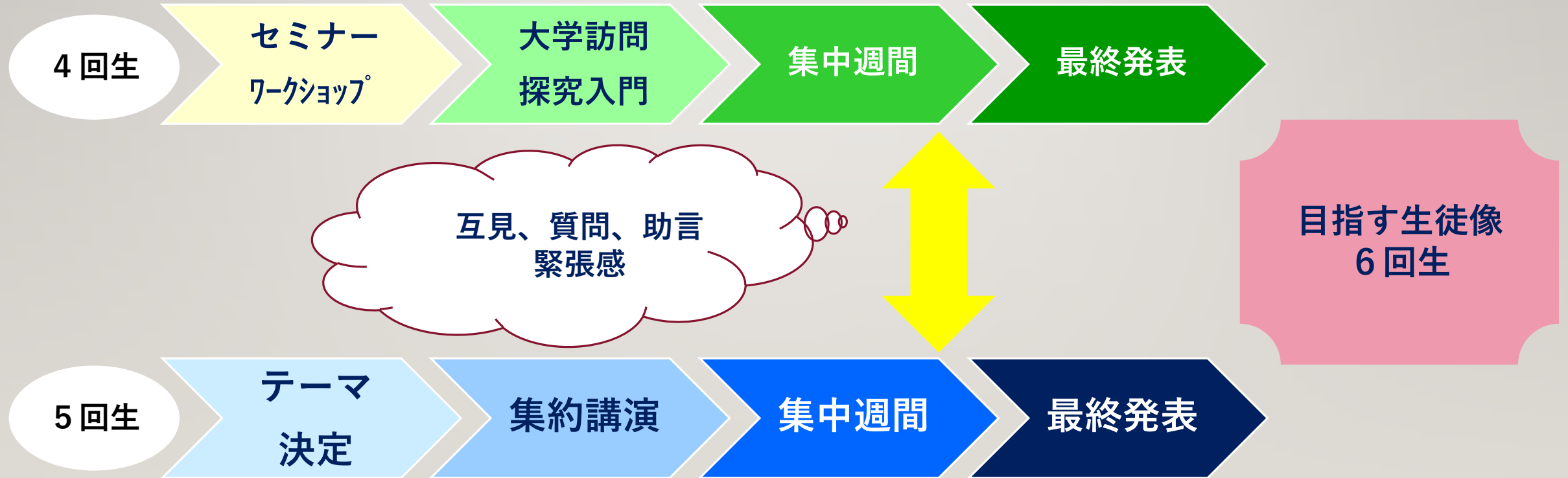
5 回生（高2）の課題研究：SG家庭基礎



- 1 テーマは自由設定（先行研究なども参考にする）
- 2 集約講演 → 専門家（近隣の方）による講演
研究へのアドバイス
- 3 集中週間 → グループでの議論を深める時間の確保
- 4 最終発表 → ポスターセッション
（グループを2つに分け、全員が発表する）
※ 4 回生が参加

後期生（高1～3）の課題研究：総合的な学習の時間

→ SG社会と情報（4回生）・SG家庭基礎（5回生）
2単位の60%程度を課題研究の時間



ルーブリックの開発・教科間の連携

- ▶ AKB Future Project で育成する3つの能力
「国際的な対話力」 「課題解決力」 「情報発信力」
- ▶ 各教科の取組（ルーブリックの実践）
→ プレゼンテーションルーブリック（英語科）
- ▶ 目指したい生徒像 → 6年間で育成
- ▶ 評価の確立 → ポートフォリオ



授業改善の取組 --- 教科のSGH化

▶ AKB ルーブリックの活用：校内研修の活用

H 2 8 ルーブリックの作成・各教科での実践

H 2 9 授業改善の取組「主体的・対話的で深い学びの実現」
英語科「プレゼンテーションルーブリック」の作成

H 3 0 「主体的・対話的で深い学び」の実現とSGHで目指す
3つの力との関連の明確化

AKBルーブリック

国際的な対話力

課題解決力

情報発信力

教員・生徒への浸透

一人一実践

教育目標（目指す生徒像）

高い知性

豊かな人間性

健康な心身

郷土愛と国際性

テレビ会議での交流授業

- ▶ テレビ会議システムを利用した交流授業（オーストラリア）
- ▶ 1回 40分（昨年度は16回）
文化や生活についての交流
- ▶ 相手校の生徒は日本語を学んでいる生徒

＜年度初めの準備（教員）＞

- ・ 相手校の教員と日程の確認（年度初め）
- ・ 相手校の教員とトピックの決定
- ・ 校内での生徒の割り振り、グループ分け

＜交流授業前の準備（生徒）＞ 放課後など授業外で作成

- ・ トピックに関するプレゼンテーションの作成（3～4分程度）
- ・ トピックに関する質問作成



イングリッシュ・キャンプ

- ▶ 2泊3日 英語実践の場
- ▶ 課題研究の大テーマに関連
(食・農業について考える)
- ▶ フィールドワーク実施
- ▶ 近隣大学の留学生の活用 → 異文化交流
- ▶ グループワークが基本



- 1日目 午後：ウォームアップ (北海道の食材を使用したお弁当)
- 2日目 午前：フィールドワーク (有機農場訪問)
午後：ディスカッション (北海道の農業の課題)
- 3日目 午前：発表準備、プレゼンテーション



Fun Fun English / 通訳ボランティア

▶ Fun Fun English

- 地域の小学生への英語イベント
ESSの生徒が中心となって、小学生を対象に、英語のゲームなどを楽しむ1日イベントを企画
昨年度2回実施



▶ ボランティア通訳ガイド

- 登別観光協会、登別観光ガイド協会と連携
昨年度、4回参加（18名）
今年度は規模を拡大して実施予定
→ふるさとを伝える



他校への普及

- ▶ 自校での公開研究会
 - ・ 公開授業
(ルーブリックの活用、深い学びなどその年度のテーマ)
 - ・ 課題研究発表
 - ・ SGH海外研修、海外留学、総合的な学習の時間などの発表
 - ・ 多くの生徒に発表の機会を与える
- ▶ テレビ会議の公開と他校生の参加
- ▶ 北海道教育委員会主催のSGH校成果報告会
 - ・ 自校の取組や課題研究の報告、相互交流
- ▶ SSH校主催サイエンスフェア 課題研究発表



成果・課題

- 提案型探究学習の体系構築の準備
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善への取組
- 生徒の英語力向上への意欲向上
- 批判的思考力、英語力の更なる向上
- 各取組、教科の連携と系統性の明確化
- S G Hの検証と事業の普及

